

## 平成 21 年定例会 12 月会議開会挨拶（平成 21 年 12 月 16 日）

平成 21 年定例会 12 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

11 月 11 日開催の町村議会議長全国大会では「真の分権型社会の創造をめざして」をスローガンに

- ① 地方分権改革の実現
- ② 少子・高齢化に伴う保健福祉対策の拡充強化
- ③ 環境保全対策の推進
- ④ 町村議会の活性化

等14項目を決議。さらに「国と地方の協議の場の設置」を盛り込んだ「分権社会の実現」「町村税財源の充実強化」「新過疎法制定促進」「後期高齢者医療制度の廃止」に関し特別決議。真に地域を再生するには、基礎となる町村が、地方分権化の中で、自治能力を高め、都市と農山漁村が「共生」しうる社会を強力に進めていくことが重要であるとし、「地域主権」の確立を掲げた新政権が、全国町村の声に十分耳を傾け、思い切った地方分権の実行を期待し、町村の危機的状況を乗り越え、真の分権型社会を創造するため、果敢に行動していくことを宣言しました。

目指す地方制度は、画一的なものではなく、地方自治体にとっての選択肢を可能な限り多く設定することに意義があると思います。自ら完全な自治体として「自由と責任」をもった真の地方政府を目指す徹底的な意識改革を進めなければなりません。

議会では、「町民が実感できる政策を提言する議会」の具現化として初めて総合開発計画（後期基本計画）への提言をいたしました。

計画当初からの背景変化を考慮し、重点目標である「雇用を支える産業の活性化と掘り起こし」、「情報の共有と町を支え・育てる人づくり」にテーマをしぼり、所管調査を実施、関係団体との意見交換を経て提言書をまとめ町長に提出いたしました。

本格提案を受け、議会としては、今後、提言にこだわりを持った議会活動を展開していかなければなりません。

合わせて、22 年度からの本格導入に向けて検討している行政(事務事業)評価についても、試行的に評価を示した 3 事業に関して、議員個々の評価を集約し、議会としての評価を提出しました。

今後、予算から決算・評価に至る政策形成過程の資料が、政策討議・議案審議に役立つよう、連動・効率化され、誰にでも、いつでも、明確にわかりやすく示されるよう、ファイリング化していくことが課題となります。

議会評価で課題としておりました、議会の映像配信については、12 月から本格配信を開始。本日の会議が、初のライブ中継となります。

本会議場で開催される会議については、ライブ中継、委員会・移動会議等についても、録画配信をして参ります。

議会だより、ホームページ等と合わせて、住民の皆さんへの議会の情報発信がさらに充実し、今後は、単なる情報共有から政策形成過程のあらゆる段階で、しっかりと討議がで

き、住民・議会・行政が一体となって参画する「協働のまちづくり」への内容が問われることとなります。そのことを強く意識し町民の皆さんの積極的な参画協働へ結びつく機会を作ってまいります。

冬も本番、寒さも一段と厳しくなってきました。

出席者各位には、風邪をひかぬよう、お体ご自愛の上、本定例会もまた、活発な討議が展開されます事を期待し、議事運営に協力をいただきますよう、お願い申し上げ開会の挨拶といたします。